令和５年度　部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	落合振興局	部局長名	河本　京子

（１）部局の役割・使命（ﾐｯｼｮﾝ）・経営方針

１災害に強いまちづくり 【No.11：住み続けられるまちづくりを】
市民の安心安全な暮らしを守るため関係機関・団体と連携を密にし、防災意識の向上と地域連携を図り、地域防災力の強化を図ります。

２生涯を通じた健康づくりの推進 【No.3：すべての人に健康と福祉を】
持続可能な地域社会を実現するための基本となる健康づくりに、各団体等との連携を図りながら取り組みます。

３市民と協働・連携したまちづくり 【No.11：住み続けられるまちづくりを】
市民との協働、連携によるまちづくりを推進し、地域課題の解決や地域活性化に向けて自ら取り組む地域づくりを進め、持続可能な地域社会の実現を目指します。

４地域の強みを活かした地域振興 【No.11：住み続けられるまちづくりを】
歴史、文化、風土、景観など地域の強みを活かした市民主体の振興事業や特産品を活用した商品開発などの地域内経済循環を推進し、豊かで自立した農山村の実現及び来訪者・関係人口の増加を目指します。

５移住・定住の促進 【No.11：住み続けられるまちづくりを】
移住者や関係人口獲得など、持続可能なまちづくりを目指す地域団体等の活動を支援します。

６うみ育てやすい環境づくり【No:11住み続けられるまちづくりを】
妊娠・出産・子育てにおいて、切れ目のない支援体制の充実を目指します。

７多様な学習の場づくり 【No.4：質の高い教育をみんなに】
豊かな人間性と教養を獲得するための、生涯にわたる市民の学習機会の提供に努めます。

（２）事業成果目標	指標名及び目標値
1-①自主防災組織の強化 ・引き続き未設立自治会へは自主防災組織設立への働きかけを行い、管内自主防災組織については、設立率が80%超と普及してきたことから、今後は自主防災組織の育成強化に重点を置き、地域防災力（自助・共助）の向上を図ります。 ・管内自主防災組織が自主的に実施する研修会や避難、防災訓練を支援します。 ・管内の自主防災組織に対して、引き続き防災の最新情報など啓発活動を行っていきます。	指標:①避難訓練回数 ②啓発回数 目標値: ①　1回　②　2回 (令和4年度実績値:①避難訓練 1回、②啓発 2回)
2-①健康づくりのための実践活動支援 地域住民の健康づくり・生きがいづくりを目的とした「集いの場」の活動を支援し、介護予防や健康増進活動を推進します。 ・生活支援コーディネーターや地域住民と連携し、引き続き「集いの場」の立ち上げを支援するとともに、活動の継続を支援します。 ・生活習慣病の重症化予防や栄養・口腔についての健康教育を行い、フレイル予防の普及啓発に取り組みます。	指標:①「集いの場」の新規開設数 目標値:2か所 （令和4年度実績値:①集いの場新規開設 ５か所）

3-①協働のまちづくりの推進 **地域振興計画に基づく観光地域づくりの推進** ・計画に従い現在進行している事業の情報収集及び広報活動の支援を継続します。 ・地域の枠組みを越えた交流が進むよう支援を行います。	指標:①情報発信数、②交流事業数 目標値:①４回、②2回 指標変更 （令和4年度実績値： ①新規事業　４事業、 ②支える人　１７人 ③関係人口　５０人
4-①地域振興事業 **【津田地区】** ・上田地域振興事業 上田地区では、「UEDA　VILLAGE（ウエダビレッジ）」の取り組みが順調であることから引き続き情報発信による支援を行って行きます。 **・吉地域振興事業** 吉地域では、地域住民が「吉縁起村」組織を立ち上げ、地域活性化10年計画の取り組みを始めています。これまでの取り組みが評価され令和４年度には農林水産省事業の農村RMOに岡山県内で唯一採択されました。令和４年度に策定した地域の将来ビジョンに従い、農地保全・生活支援・地域資源活用による地域振興事業を積極的に進めていきます。 **【別所地区】** **・別所地域振興事業** 別所地域では、全国有数の「醍醐桜」が存在しています。現在では桜のシーズン以外のイベントも充実しており地域独自の地域振興が進められています。引き続き情報発信による支援を行って行きます。 **【中心部活性化】** 落合中心部の街中では、多様な活動団体による地域振興が行われています。特に垂水向津矢住民会では、このような活動団体が連携できる場づくりの一つとして街づくり勉強会等を開催しています。令和４年度には「落合・久世・勝山deのみーの」が開催されるなど、広域での連携が広がりを見せ始めています。引き続き情報発信による支援を行って行きます。 **【落合振興地域交流事業】** これまで振興してきた地域が持続可能となるよう、より広域での連携を推進していきます。また、この振興地域交流事業には新しい組織等が容易に参加できるよう各地域の拠点で交流を行う形式とし、新たな振興事業が立ち上がる仕組みとしても機能させていきます。また、耕作放棄地等の再生につながるコケの生産事業等について市内外の企業及び団体と連携した取り組みを進めて行きます。 **【落合地域農あるくらし推進事業】** これまでの落合地域振興は、中山間地域の大きな魅力である美しい山林や農地などの保全や活用する事業があまり行われてきませんでした。今回、この「農地」という地域資源を活用し、付加価値の高い米、「プリンセスサリー」の生産販売実証を行い産業化を支援します。	指標:①交流事業の開催数、②支える人、③プリンセスサリー生産面積 目標値: ①２回、②４人、③３ha 令和4年度一部指標変更 （令和4年度実績値： ①8回、②8人、 ③900人）

5-①地域間交流の推進 ・おちあい元気フェスタは、真庭市内の地域の活性化と広域交流を図るためのイベントと位置づけ、多様な企業、団体、地域、人材に参加していただくことで、地域を越えた交流を行っています。実行委員会自らが自由な発想で主催していく活動となるよう支える人材の掘り起こしと参画を推進していきます。	指標:①支える人、②交流人口 目標値:①３人、②１,000人 （令和4年度実績値：①　3人、②200人　）
６-①安心して真庭で子どもを産み育てられるよう切れ目のない支援【うみ育てやすい環境づくり】 ・無料通信アプリLINEを活用した個別相談や親子健康手帳交付時、育児相談、離乳食教室時等に妊娠や子育ての不安や悩みにきめ細かく対応を行うことで不安の軽減や孤立化予防に努めます。 ・新生児訪問、妊産婦訪問、ベビーマッサージ等により早期に保護者と関わり安心して子育てができるよう支援します。 ・中学校、各関係機関と連携し、中学生がおもいやりの心をはぐくむと同時に子どもを育てる親の役割や子育てについて学ぶことで将来子どもを産み、子育ての関心を高めてもらう目的でふれあい体験学習を開催します。	指標:①育児相談日の参加者数②離乳食教室参加者数③ベビーマッサージ参加者数 目標値:①100人／年 、②・③5組／回 新規 （令和4年度実績値：－）
７-①学びの場の充実【多様な学習の場づくり】 ・公民館講座の積極的な情報発信を行い、利用者の増加につなげます。 ・長期休業中の子どもの居場所づくりとして、文化活動や学習支援など高校生や教員OBなどのボランティアや図書館とも連携した講座を実施します。 ・子どもを対象としたDVD上映会だけでなく、誰もが楽しむことのできるように開催内容や方法を工夫し実施します。 ・乳幼児のいる保護者に絵本を読み聞かせることの大切さを伝えるため、定期的に実施する読み聞かせ会や絵本を紹介する講座を実施して幼少期からの読書習慣の定着を図ります。 ・こどもの読書活動推進のため地域内の新一年生の保護者に利用者カードの登録を呼びかけます。 ・真庭高校落合校地へ食農生産科が新設されることから、農業分野などの蔵書の充実を図り、高校生の利用を促進します。	指標:①図書館利用者カード新規登録者数、②図書貸出冊数、③公民館・図書館連携講座開催数 目標値:①100人、②5冊/人、 ③20回 （令和4年度実績値：①86人、②3.0冊、③21回）